

大阪新卒応援ハローワークは7月10日午後1時から、求職者と企業の出会いの場となるレギュラーマッチングブース（RMB）説明会・面接会を開く。今回は2016年3月卒業予定の大学・大学院、短期大学、専門学校の新卒と既卒者（第2新卒）が対象となる拡大版だ。

参加企業の業種・職種では、集塵機や電気工具など産業用機械製造会社の営業職▼大手旅行会社の旅行コンサルタント▼人材派遣業の人材コーディネーター職▼企業情報サービスの企画調査営業職▼子ども英会話教室の講師、教室の運營業務職▼有機化学工業製品の製造会社の一般事務職▼広告の企画や営業、制作職▼コーヒーなど大手飲料メーカーのルート営業職など今のところ計12社が参加予定。いずれも未経験の若者を正社員として育てようとする会社だ。

当日は午後1時、2時、3時、4時、5時の計5回に渡り、説明会を実施する。1回45分の完全入れ替え制となり、



**拡大RMB** 大阪新卒応援HW

途中で入退室できないので注意を。

参加者には事前に、説明を聞きたい会社名を申し込み用紙に記入してもらおう。開始直前は混雑が予想されるため、早めの申し込みをお勧めする。履歴書は不要で服装も自由。問い合わせは06(7709)9455へ。

5月29日開かれた拡大RMBの既卒・第2新卒編には、就活生161人が参加。病院事務職やアパレル、自動車販売業など12社が集まり、主力商品や事業内容などについて説明した。参加者はメモを取るなど熱心に聞き入っていた＝写真は企業説明会の会場。2面にアンケート結果詳報。

**7月10日 飲料 旅行 広告 製造業**

**学ハロ大阪新聞**

発行所  
厚生労働省 大阪労働局  
大阪新卒応援ハローワーク  
〒530-0017  
大阪市北区角田町8-47  
阪急ランドビル118階  
TEL 06-7709-9455  
FAX 06-7709-9458  
http://osaka-young-site.mhlw.go.jp

**就活 夏の陣**

7月17日、14時—20時

**「天下1合説」80社集結**



「テツペン企業による天下1合説」世界に誇れるオンリーワン企業が集まる合同企業説明会が7月17日午後2時から大阪・梅田のコングレッションセンター（グランフロント大阪北館地下2階）で開かれる。就活サイトでは出会えない80社が集結する。

グランフロント大阪北館地下2階

第20号

2015年6月18日

大阪新卒応援ハローワーク



- 3 お悩み相談 「志望動機どう書けば」
- 4 活躍する若手社員 25歳人材コーディネーター

大阪には製品や技術力など世界に誇れるオンリーワン企業が多数ある。だが、知名度不足から魅力ある中小企業と出会う機会が大変少ないのが現状だ。労働力人口の減少や景況感の回復に加え、本年度から採用活動期間が短縮され

たことで中小企業への応募機会が懸念されている。厚生労働と文部科学両省が5月19日に発表した平成27年3月に大学を卒業した大学生の就職率（4月1日現在）でも、96・7%と前年比2・3ポイント増加し4年連続で改

で開かれる。当日は午後1時半に受付開始。午後2時から午後8時まで

善した。リーマン・ショック前の2008年3月卒（96・6%）とほぼ同水準まで回復するなど、雇用環境の改善から大学生の大手志向が強まり、中小企業の人材確保は厳しくなるとの声も聞く。このため、「天下1合説」では、技術力や市場シェアなどで世界一、日本一を誇る中小企業が集結求職者との積極的なマッチングを図る。対象は2016年3月卒業予定の大学・大学院、短期大学、専門学校生や外国人留学生、40歳代前半までの求職者。参加企業は、クリーンルーム内装の設計・施工・監理で国内トップ級の会社やLNG船用の安全弁で世界シェア1位の会社、製鉄用誘導加熱コイルの国内シェア1位の会社など80社が参加予定。会場には各ハローワークが相談ブースを設け、求職者の個別相談に応じる。

「自分はどんな仕事がしたいのか」「一体どんな仕事に向いているのか」。2016年3月卒の就職活動が本格化する中、多くの就活生が自問自答しながらエントリーシートの作成や面接に臨んでいる。どのように職業を選択すればいいのか。大阪新卒応援ハローワークの職業選択セミナーでの講義から考えるヒントをお伝えする第2弾。

## 求人票読み込み、現実的な仕事選びを



### 職業選択セミナー

### 賃金や年間休日、離職者数…要チェック

職業選択はまず、2つのポイントを押さえよう。

一つ目は、業界・企業を知ることだ。業界とは製造業や建設、農林水産業、鉱業、エネルギー、運輸・通信、卸売、小売・飲食、金融、不動産サービス、官公庁などだ。

そのうち製造業では、食品や繊維、家具、出版、医薬品、鉄鋼、金属、機械、玩具、自動車がある。その中から興味ある企業を選び、経営基盤が強いかどうか、事業の将来性はどうか一を見よう。

判断材料は、毎日の株価の動きや四半期ごとの業績、商情情報だ。とりわけ企業の財

務諸表は学生に例えると個人の成績表に当たる。直近5年間の売上高や経常利益は必須項目。しっかりと把握しよう。

景気や為替の動向で各業界の有効求人倍率も変わってくる。大量に採用する傾向にある業界か、右肩下がり業界かでは、就活の準備や方法も自ずと変わる。企業HPや新聞、業界誌、会社四季報、図書館の利用も有効だろう。

二つ目は職種の特徴や内容を知ることだ。職種とは事務職や営業・販売職、技術、研究開発職など。例えば事務職といっても、人事や総務、経理、秘書から営業、医療事務など多種多様だ。

最初から業界、職種を決めかねている場合は、どちらが前後でもよい。まずは会社説明会に足を運ぼう。先輩社員は未来の自分の姿と重なる。彼らが日々、どんな思いで仕事に取り組んでいるのか、どんな上司や同僚がいるのか。仕事での失敗や、やりがいは何かを積極的に聞き、メモを

取ろう。また質問を一つは投げかけてみよう。素朴な疑問

から、採用担当者の本音や課題も見えてくる。これらの積

### 5月拡大RMB

### 参加者の56%「応募したい企業あった」

5月29日の拡大レギュラーマッチングブース説明会・面接会に参加した就活生と企業を対象に実施したアンケート結果がこのほどまとまった。それによると就活生の56%が「応募したい企業があった」と回答した。企業側が採用選考で重視する点として「あいさつや言葉遣い」「質問への受け答え」「人柄」を上げるとともに、応募者の印象について「おとなしい人が多い」「もっと自信を持って欲しい」と考えていることも分かった。

既卒・第2新卒編には161人が参加。アンケートは108人（男性55人、女性53人）から回収した（回収率67%）。

それによると、就活生が参加して良かった理

由では「詳しく会社のことが聞けた」「直接職場の人たちの声を聞けた」「多くの企業を知ることができた」が上位を占めた。重視する点は45%が「仕事内容」。続いて36%が「労働条件」、26%が「福利厚生」となっている。

企業側が採用選考で重視する点については、志望動機がトップ。自己PRや既卒後の経過年数、本人のやる気を上げる会社もあった。未経験者を採用する決め手は「入退場のしぐさや言動、社会人として最低限、身につけなければならないことを就活の段階で意識・理解しているか」「販売職に向いている性格か、笑顔がいいのか」「意欲・熱意。周りのために努力できるかどうか」「人柄」などを重視するという。

### 既卒・第2新卒編アンケート

み重ねを通じて、自分が就きたい仕事と入りたい会社へのマッチングを進めていく。その際の注意点は、企業の規模やイメージ、知名度を基準にするのではなく、具体的な求人票から仕事内容や労働条件を読み込み、本当に自分がやりたい仕事か、長く続けられるかを判断して欲しい。では、具体的なツールとなる求人票を見てみよう。

ハローワークの求人票には5項目ある。①「会社の情報」では、事業所の所在地と勤務地は同一か、通勤可能な範囲か確認を。会社30年説は「存じか。設立年時や会社の特長、資本金もチェックしよう。

②「仕事の情報」では、雇用形態の「正社員」を確認。非正規雇用のアルバイト・契約社員では生涯賃金で大きな差が出る。職種と仕事内容の整合性にも注意を。就業時間や時間外労働の有無は賃金に関わる重要なポイントだ。月平均、何時間あるかも確認しよう。

# 就活・お悩み相談

Q 志望動機はどのように書けば、採用担当者の心に伝わりますか？

## 会社のどこに魅力を感じたのか

志望動機は採用選考で最も注目されるポイント。にもかかわらず、企業のHPや配布資料の言葉をそのまま写したような文面が多く見られます。これでは採用担当者の目に留まりません。

では、会社は志望動機を通じ、あなたのどこを見ているのでしょうか？

やはり「わが社のことをしっかり理解して応募しているか」「数ある企業の中でなぜウチを志望するのか」「どれほど強くわが社に入社したいと思っているのか」に尽きるでしょう。だからこそ志望動機には①「会社のどこに魅かれたのか」②「なぜそこに魅かれたのか」③「入社後、自分がどうなりたいか」の3点を文章の中にしっかり盛り込み、論理的に伝えることが必要となります。(①②③を伝える順はどこからでもOK)。

それでは、それぞれの中身について解説します。

①「その会社のどこに魅かれたのか」。会社はそれぞれ、業務内容や事業の方向性、市場での強みなどが異なります。「別に当社じゃなくてもいいのでは」と思われたいためには業界や職種からさらに踏み込み、「その企業だからこそやっていること」を調べ、しっかり伝えましょう。

②「自分はなぜこの会社に魅かれたのか」。会社の良いところばかりを並べるだけでは「なぜ魅かれたのか」が分かりません。自分の興味や強み、将来取り組みたい仕事を軸に、その企業に魅かれた理由を伝えましょう。

③「入社後、自分はどんな人物になりたいか」。自分のやりたいこと、何ができるか。自分の夢と結び付けて未来の可能性と意欲を語りましょう。

## プロポーズで意中の企業を射とめて

では「旅行会社のカウンター営業職」を想定し、具体的な志望動機を考えてみましょう。

▼旅行の企画立案が好きで高校の卒業旅行や大学のゼミ・部活旅行の企画に携わってきた。カウンター担当者の親身で適切なアドバイスと現地の生の情報を得て満足できる企画案ができた。担当者の献身的な姿勢に「私もお客様に喜んでいただける旅の提案を一生の仕事にしたい」と心に決めた▼貴社は常に顧客目線に立ち、数ある商品の中から、お客様一人一人の要望に合わせたプランを提案されている。これは私が受けた相談の経験や店舗見学を通じ実感した。特に貴社のプランは従来の見る観光だけに留まらず、地元住民との交流や稲刈り体験など地域の活性化とエンターテインメント性を合わせ持つ斬新な企画が多い。これは貴社が日々、お客様との対話を重視されニーズを知ることから生み出された独自の商品である。旅行の営業とはただ単にツアーを売るだけではない。知識と経験に裏付けられた温かいサービスを提供することであると私は思う。それが実現できるのが貴社の社風であり、志望する大きな理由である。▼入社が叶うならば、知識や経験を一つずつ積み上げ、自由に旅の楽しさを伝えてくれたように、お客様に喜んでいただける商品を提案したい。店頭業務はもちろん商品企画や渉外営業、添乗業務など様々な分野に精通し、社業に貢献するのが私の決意であり、夢である。以上。

好きな相手にプロポーズする。志望動機とは、あなたから意中の会社への「告白」です。「私はこんな人物でこんな強みがあります。あなたのこんな点が好きになりました。だから、私と付き合えばこんなにお得ですよ、このように貢献しますよ」と。ぜひ、自分ならではのプロポーズで意中の企業を射とめてください。(J S 佐野)

## 企業説明会など積極参加を

就活中の皆さま、蒸し暑い梅雨の時期になりましたね。8月1日の採用選考解禁日に合わせて学生の皆さまはいよいよ就活が本格化ですね。くれぐれも体調管理には気を付けてください。今号では「仕事選びのポイント」について掲載しています。仕事選びといっても一人ではなかなか解決できないですよ。そんな時は窓口の学卒ジョブサポーターと相談したり、7月に開催される拡大RMB第3弾や天下一イベントなどに積極的に参加して企業の人事担当者から直接話を聞き、また質問をどんどんしていきましょう。積極的に動くことが仕事を選び理解するためのポイントです。

子育て支援企業として厚生労働省が認定している。

社は1社だけ。悔いなき就活をHWは全力で支援します。

③「労働条件等」では、賃金の「基本給」と「その他手当」の内訳を見る。賞与は「基本給」を基礎算定額にしているケースが多い。休日数は総労働時間との関係を踏まえ、妥当な日数か調べよう。例えば、年間休日数が98日の会社は一見、125日より劣るように見えるが、年間の総労働時間でみると1日の就業時間が短くなる。単に日数だけで善し悪しは判断できない。ぜひチェックしておきたいのが「くるみん」取得企業だ。

④「選考」では、既卒で会社員の経験があれば「職務経歴書」、アルバイトなら「自己紹介書」に。⑤「補足事項・特記事項」も要注意だ。就業前に自己負担で商品を買わせるなど理解に苦しむ条件が記載されていないか。離職状況については、ハローワークの学卒求人には各年度の離職者が記載されている。ぜひ、参考に。せっかく就職した会社をわずか数年で辞めるのは大きな損失。最終的に入社できる会社は1社だけ。悔いなき就活をHWは全力で支援します。

「楽しんで仕事ができると成果も上がり、顧客企業も喜んでくれる。自分が会社を動かしているという実感こそ、ベンチャー企業の面白さだ」。人材コーディネーター職の男性は働く醍醐味をこう強調した。ハローワーク利用をきっかけに社会人となり、大企業と中小企業の両方を経験。仕事選びの要諦は「自分が芯から仕事が楽しめるかどうか」だ。

「皆さん、想像して欲しい。大手企業に入社した5年後のことを。楽しく仕事ができているだろうか。大手では、組織や役職は既がちり固まっており、そう簡単に昇進できない。そこへいくとベンチャーは会社が大きくなるチャンスがある。自分が会社を動かしているという実感がある。そのことをぜひ、知って欲しい」。

今年4月、大阪新卒応援ハローワークで開かれた会社説明会のレギュラーマッチングブース。エクシードジャパンの25歳・人材コーディネーター職の男性は就活生にこう語りかけた＝写真右。

同社は平成17年に創業。企業の採用ニーズに最も適した人材の派遣や、採用活動をバックアップする求人広告、自社開発商品を販売するEC、エステサロンなど幅広く事業を展開する。豊かさの追求と社会貢献、あくなきチャレンジ精神が企業理念だ。

入社2年目。人事担当として採用の最前線にいるが、大学時代の就職活動は「有名企業しか知らず、中堅・中小企業を知る術もなかった」。結局、就職が決まらぬまま卒業。フリーターとしてアパレルやガソリンスタンドで接客の仕事をした。「多少、焦りはあるものの、なんとかやるだろう。暇もつぶせるしお金も入る」と。だが、収支はプラスマイナス、ゼロ。

「こんな生活がいつまで続くのか」。将来への不安がよぎる。ある日、同級生に合った。みんな仕事帰りでスーツをビシッと着こなしている。一方、自分は汚れたジャージ姿。「なんだろう自分は」。ハローワークを訪れたのはそんな頃だ。

参考になったのは職業の適性テスト。「結果をみると、営業系の仕事が向いている」。やはり営業職だ、と再認識できた。相談窓口では、未経験で何も知らなかった

自分を心から後押ししてくれた。

再開から1ヵ月。全国に営業所を持つ大手OA機器販売会社に就職した。担当は法人営業だ。ワンフロアに100人規模の社員。同世代は1割もおらず上司から指示が出て「あれやれ、これやれ」。毎日がやらされ仕事だった。ルート営業や新規開拓も経験した。勉強になったのは、会社という看板を背負う意味だ。「ミスをすれば会社全体が問われる。私、個人で動いているわけではないのだ」。

勤めて1年弱。大手企業の不安な面にも気付く。「OA機器やエコ商材などウチでなくても物品は入手できる。果たして5年後、この商売は残っているのだろうか」。



転職か。心が揺らぐ。そんな時、今の会社の先輩から声が掛かった。

「私の芯は楽しく仕事ができるからだ。仕事ができるとその延長線で顧客企業も喜んでくれ、会社の業績も伸びる」。理想はウイン・ウインの関係だ。「上場企業は安定しているが、山の頂点は下るしかない。一方、ベンチャー企業は未知数だが、常に成長している。自分が楽しく仕事をしないと結果、会社の利益も上がらない」。自分の考えとエクシードジャパンの社風がマッチした。「企業の要諦は人だ。人材ビジネスにニーズはある」。将来性も確信した。

モノと人との違いは何か。「人の派遣は売れば終わり、ではない。物品の不備は修理すればOKだが、

人材はそうはいかない。私が扱っているのは仕事そのものであり、その人の人生がかかっている」。

登録者数の多い大手とは違う。だからこそ、一人一人のスタッフの質に拘っている。派遣スタッフが今、どんな気持ちで働いているのか。絶えずフォローする姿勢で臨む。「転勤で仕事が出来なくなった。どうすれば…」。「他社で正社員の仕事が決まった。お世話になりっぱなしで申し訳ない」など登録スタッフとのやり取りは人生相談のようだ。「担当は22歳から40歳代半ばまで幅広い。年上の世代からは多くのことを教わり、私が勉強させてもらっている」。

今は就活中の若者と触れ合う機会も多い。「あの頃の自分もそうだったが、5年後10年後、自分はどうなりたいかを考えて。家族を養っていけるポジションや役職は志望する会社にあるのか。有名であるとか企業規模ではなく、しっかり調べて」とアドバイスする。

「若くてもバリバリ仕事をやってみてみたい。ただ自信がない。どうしたら、そうなれるのか」。説明会ではそんな質問を就活生からよく受ける。そんな時はいつも、こう答えている。

「私は有名大学を出たエリートではない。いわば雑草だ。大学も就職が決まらず卒業するなど、みんなと同じ立場だった。そんな人間でも今、会社から人事という重要な仕事を任せられ日々、楽しみながら仕事をしている。懸命に仕事と向き合えば、他人から評価されるチャンスはいくらでもあるよ」。

自身も悩んだ経験を生かし若者の就業相談にも携わる。「こんなことを聞いてもいいのか、と躊躇せず、何でも遠慮なく尋ねて欲しい。同世代の若いコーディネーターが、いつも皆さんに寄り添っている。そのことを忘れないで」。

エクシードジャパン人材コーディネーター・25歳男性

「仕事は楽しみながら」自分が会社を動かすベンチャー魂